

平成29年度(2017年度)

管理事業名	市民センター事業			総合計画の体系	第2章 第1節	市民自治が育む自立のまちづくり 多様なコミュニティ活動の充実による住みよいまちづくり		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 19	市民センター費	
部局名	市民部	予算執行所属	市民自治推進室					
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名							
事業の目的と概要	<p>市民相互の交流並びに市民の文化及び福祉の向上を図ることを目的とし、その目的を達成するために指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を行っています。</p> <p>なお、千里市民センターはPFI事業の管理業者に委託し、施設の運営を行っています。</p>							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
施設利用者数	人	300,429	307,014	320,228	市民センター貸出施設の利用者数
施設利用率	%	66.8	65.4	66.6	貸出施設の利用率
成果の説明	<p>利用者数の増加及び利用率の上昇は、指定管理者による多様な自主事業の開催や積極的な情報発信の取組み並びにメイシアター改修工事による同施設の利用停止が影響しています。</p> <p>成果の目標としては、施設利用者数及び利用率のいずれも、前年度実績を上回ることを目標としています。</p>				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	37,608	37,013	36,907	△106
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1,509	1,888	1,491	△397
経常収入 小計(a)	39,117	38,901	38,398	△503
給与関係費	6,625	8,974	10,639	1,665
物件費	154,050	156,596	156,114	△482
維持補修費	1,102	2,790	4,803	2,013
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	47	38	96	57
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	41,228	41,228	41,228	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	486	742	846	104
退職手当引当金繰入額	123	3,011	1,958	△1,053
支払利息	9,821	8,066	7,372	△693
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	213,480	221,444	223,055	1,611
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△174,364	△182,543	△184,657	△2,114
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別支出	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△174,364	△182,543	△184,657	△2,114
一般財源充当額	209,152	173,624	177,293	3,669
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	34,789	△8,919	△7,363	1,555

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
経常収入 その他	通信カラオケ機器情報使用料等397千円の減
給与関係費	職員人件費1,665千円の増
維持補修費	岸部・豊一市民センター屋上防水修繕、千里丘空調室外機修繕等の実施による修繕料2,013千円の増

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	39,117	38,901	38,398	△503
行政サービス活動支出	172,874	177,738	180,700	2,962
行政サービス活動収支差額	△133,757	△138,837	△142,302	△3,465
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	75,396	34,787	34,991	204
財務活動収支差額	△75,396	△34,787	△34,991	△204
収支差額 合計	△209,152	△173,624	△177,293	△3,669
一般財源充当額	209,152	173,624	177,293	3,669
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	【財務活動支出】 地方債償還金10,366千円 千里ニュータウンプラザPFI事業債務償還金24,625千円
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
開所日1日あたりのコスト	平成27年度	1,398 日	152,704 円	市民センター4館で1日あたり160,011円のコストがかかっています。前年度より1,156円増額した主な理由は、空調設備等の修繕により維持補修費が増加したものです。
	平成28年度	1,394 日	158,855 円	
	平成29年度	1,394 日	160,011 円	
利用者1人あたりのコスト	平成27年度	300,429 人	711 円	市民センター利用者1人あたり697円のコストがかかっています。前年度より24円減額した主な理由は、利用者数の増加によるものです。
	平成28年度	307,014 人	721 円	
	平成29年度	320,228 人	697 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	35,733	25,471	△10,262
未収金	-	-	-	地方債	10,366	-	△10,366
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	742	846	104
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	24,625	24,625	-
事業用資産	2,201,771	2,160,629	△41,142	固定負債	353,143	329,541	△23,602
有形固定資産	2,201,771	2,160,629	△41,142	地方債	-	-	-
土地	1,136,032	1,136,032	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	1,065,739	1,024,597	△41,142	退職手当引当金	8,387	9,410	1,023
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	344,757	320,131	△24,625
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	388,876	355,012	△33,864
固定資産	-	-	-	純資産	1,813,535	1,806,171	△7,363
有形固定資産	-	-	-	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	8,387	9,410	1,023
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
重要物品	640	555	△85	その他固定負債	344,757	320,131	△24,625
図書館資料	-	-	-	負債及び純資産の部合計	2,202,411	2,161,184	△41,228
投資その他の資産	-	-	-	純資産の部合計	1,813,535	1,806,171	△7,363
出資金	-	-	-	地方債	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	長期借入金	-	-	-
基金	-	-	-	退職手当引当金	8,387	9,410	1,023
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他債権	-	-	-	その他固定負債	344,757	320,131	△24,625
資産の部合計	2,202,411	2,161,184	△41,228	負債及び純資産の部合計	2,202,411	2,161,184	△41,228

Ⅲ 財務構造分析

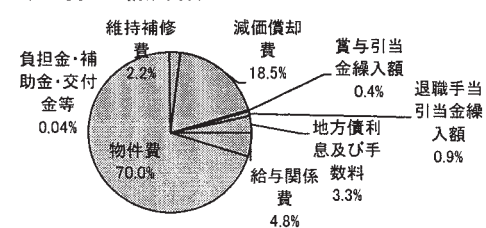
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤		臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	人	月平均	人	年間従事延日数	実人数	
給与関係費等	1,39	人					13,442
内、時間外勤務手当	701	千円					

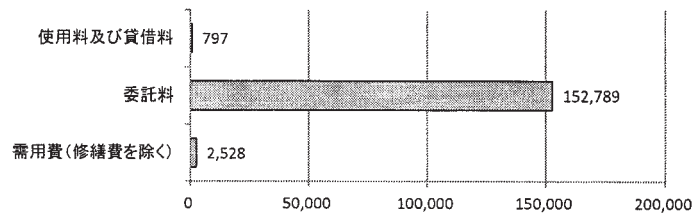
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	千里市民センター他3館の建物減価償却による41,142千円の減
地方債	地方債償還による10,366千円の減
その他固定負債	千里ニュータウンプラザPFI事業に係る債務償還により、24,625千円の減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立岸部市民センターほか3館
取得年月日	平成2年(1990年)4月1日(岸部市民センター)ほか
建物・工作物の取得価額	1,801,281 千円
建物・工作物の減価償却累計額	776,684 千円
利用料金収入	36,907 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率	0.1	0.2	0.3	0.1
施設老朽化比率	38.6	40.8	43.1	2.3
受益者負担比率	17.6	16.7	16.5	△0.2
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	84.2	81.7	82.2	0.5
経常費用対公共資産比率	11.9	12.3	12.4	0.1

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用につきましては、コストの70.0%を物件費が占めており、そのうち約98%が市民センターの施設運営に係る委託料となっています。施設の老朽化に伴い、維持補修費が増加傾向にあります。老朽化比率の最も低い施設である千里市民センターの老朽化比率は24.5%と、前年度に比べ4.3%上昇し、最も老朽化比率の高い施設である岸部市民センターの老朽化比率は55.8%と、前年度に比べ2.0%上昇しました。また、市保有施設全体の老朽化比率は前年度から3.1%上昇しており、市民センター全体では2.3%上昇しました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

他の市保有施設と同程度に市民センターの老朽化は進行しており、それらの更新・補修に関するコストも必要となりますが、厳しい財政状況が続くことが予測されることから、その財源を確保することが非常に困難となっています。今後は公共施設最適化の動向を踏まえながら必要な更新・維持補修の財源確保を行い、施設の計画的な維持補修を実施することで、施設の長寿命化を図る必要があると認識しています。また、指定管理者制度の効率的な運用及び受益者負担の適正化を更に推し進めていくことにより、負担すべきトータルコストの適正な管理に努めることが重要であると考えています。